

平成28年度愛知県ひとり親家庭等実態調査について（概要）

本調査から算出したひとり親家庭の子どもの貧困率

◆算出方法

母子・父子世帯の調査票：家族の人数
世帯の収入（手取り額）

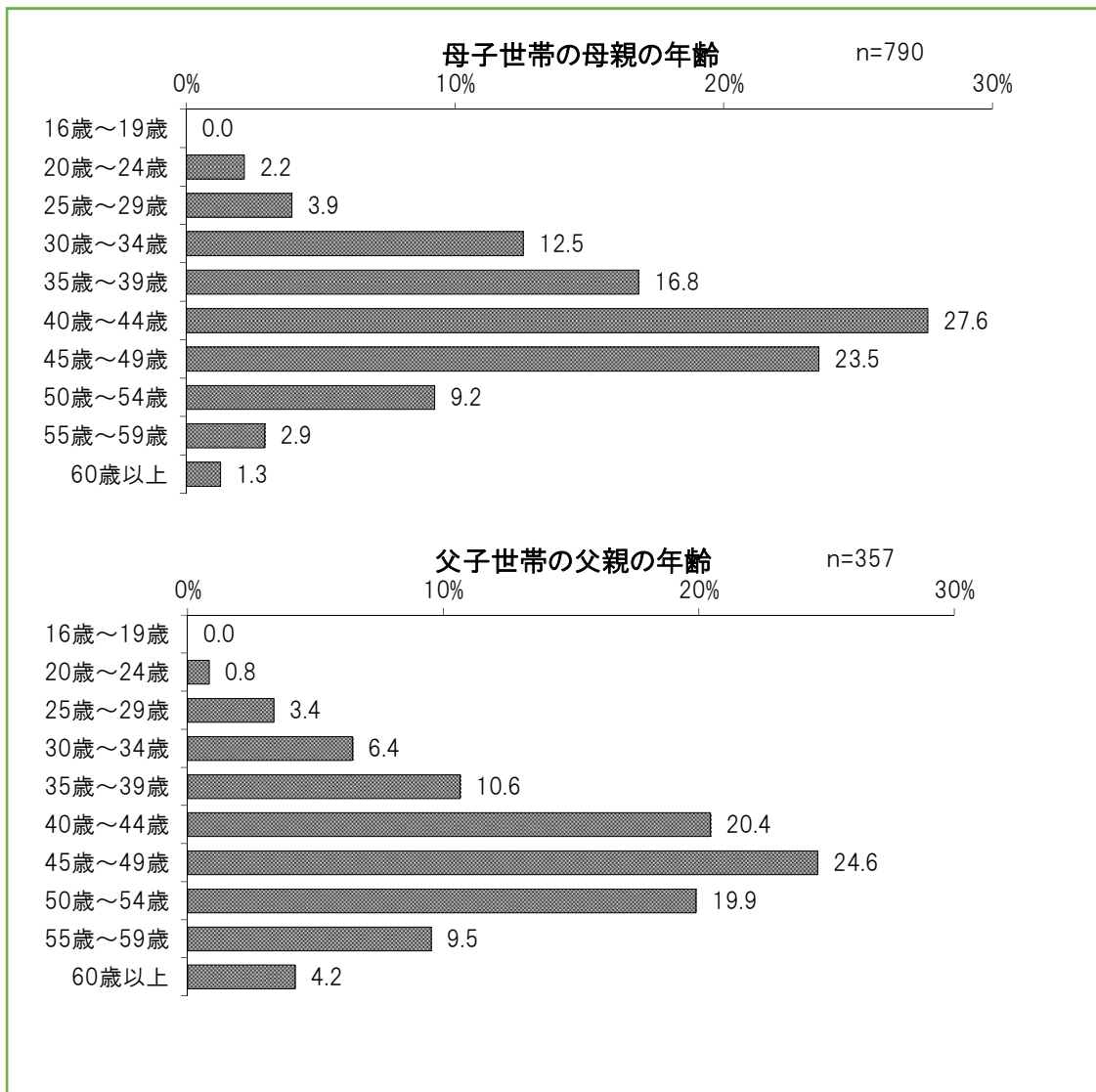


- 1人当たりの収入（手取り額）を算出
- 国民生活基礎調査の貧困線（平成24年122万円以下）をもとに、子どもの貧困率を算出
- 愛知県独自の貧困線を算出し、子どもの貧困率を算出

◆算出結果

- 国民生活基礎調査の貧困線（平成24年122万円以下）による場合
子どもの貧困率 52.9%
- 愛知県独自の貧困線137.5万円による場合
子どもの貧困率 65.5%

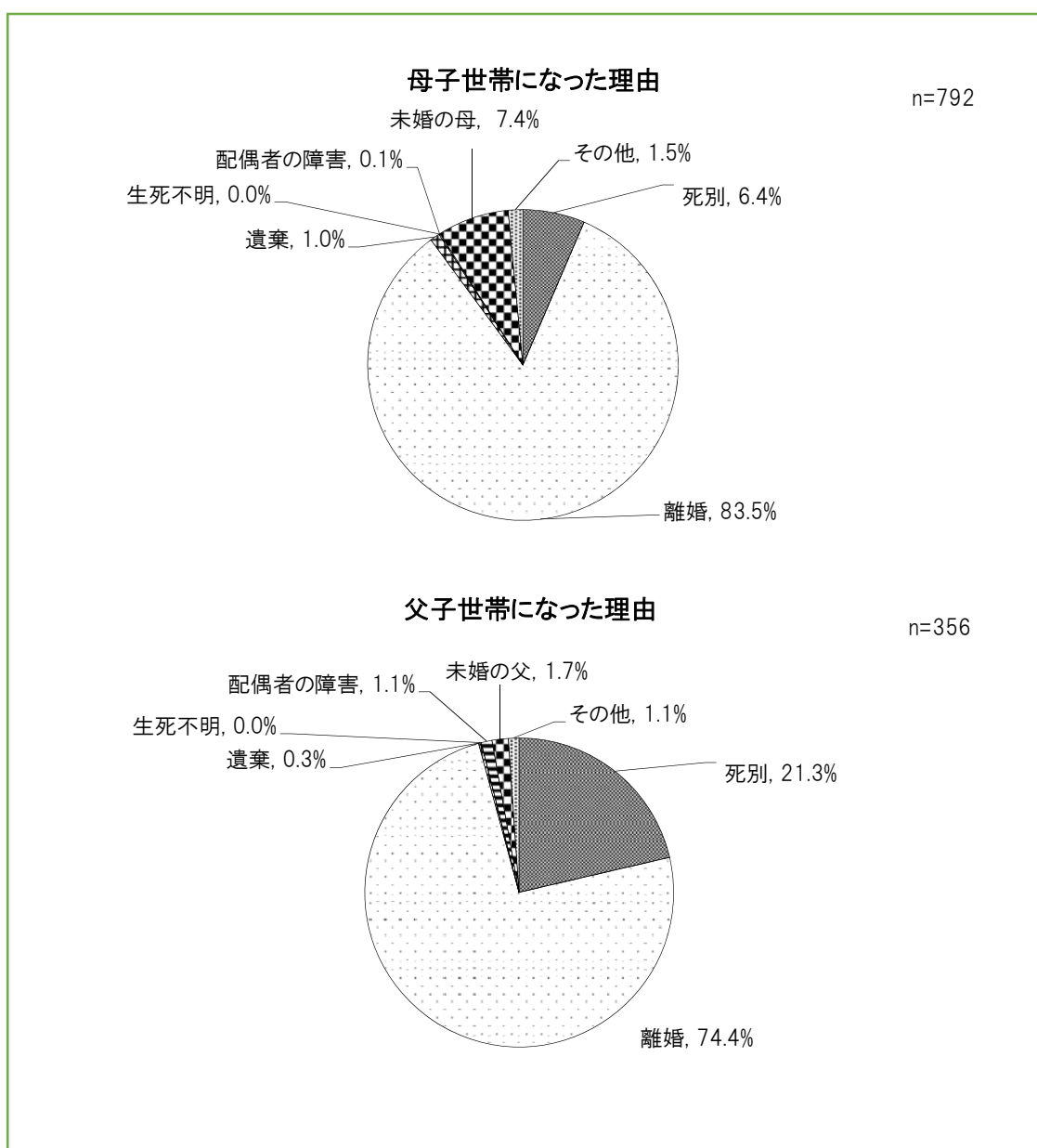
(1) ひとり親世帯の親の年齢



母子世帯の母親の年齢は、「40歳～44歳」の割合が27.6%と最も高く、次いで「45歳～49歳」が23.5%、「35歳～39歳」が16.8%、「30歳～34歳」が12.5%の順となっており、40歳代（51.1%）の占める割合が高くなっている。また、母子世帯の母親の平均年齢は41.6歳となっている。

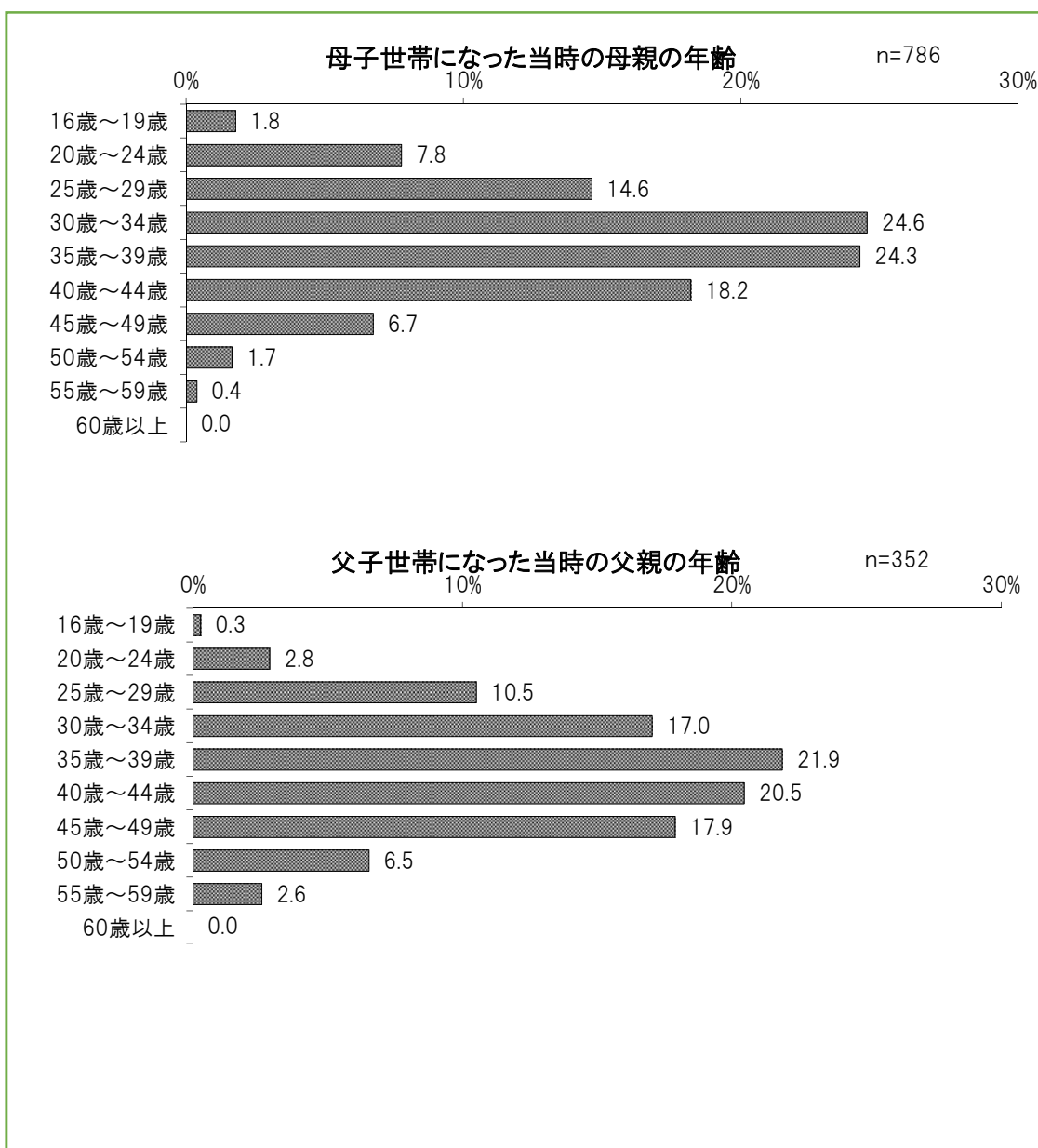
一方、父子世帯の父親の年齢は、「45歳～49歳」の割合が24.6%と最も高く、次いで「40歳～44歳」が20.4%、「50歳～54歳」が19.9%、「35歳～39歳」が10.6%の順となっており、40歳代（45.0%）の占める割合が高くなっている。また、父子世帯の父親の平均年齢は45.6歳となっている。

(2) ひとり親世帯になった理由



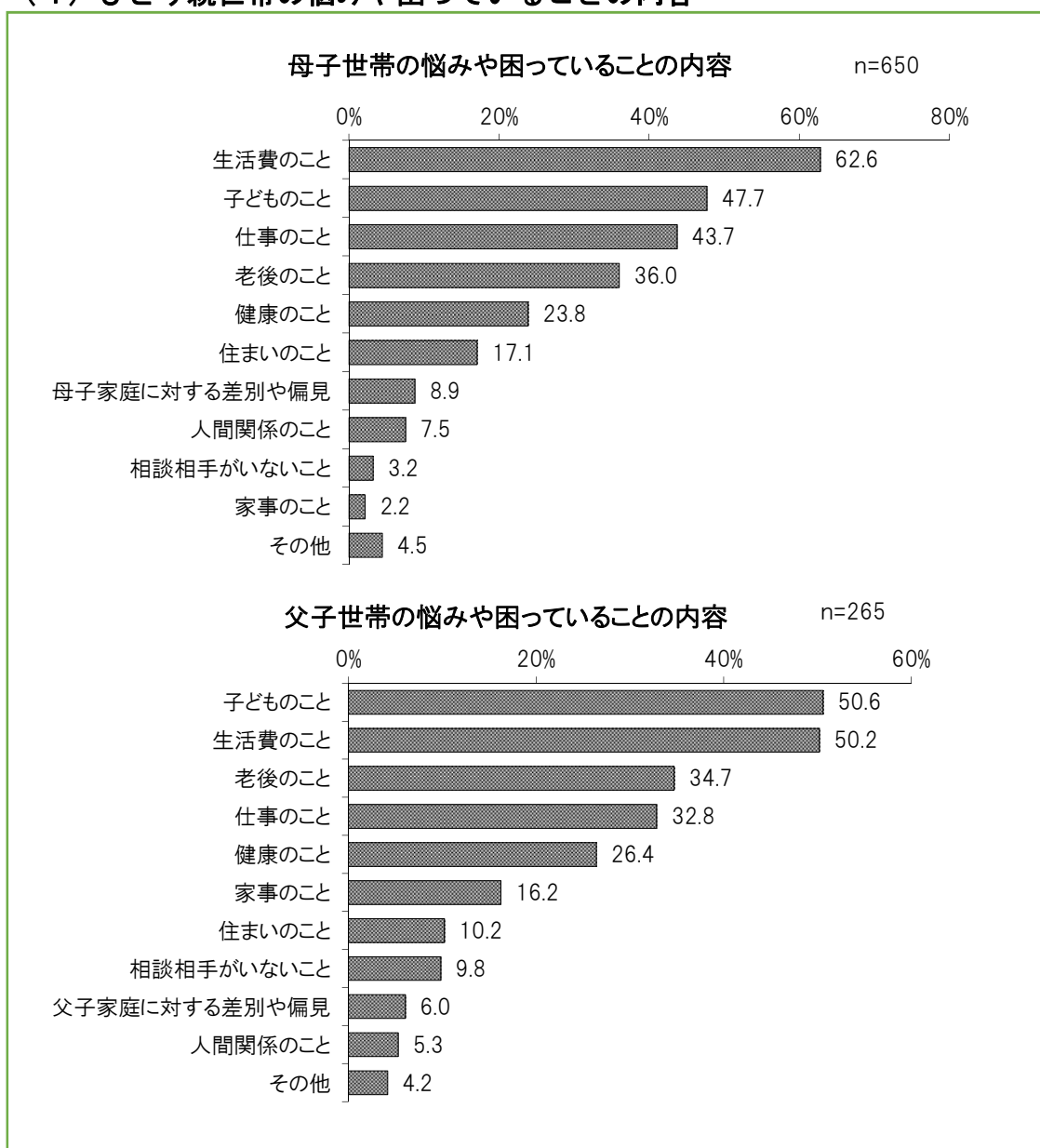
母子世帯になった理由は、離婚が83.5%、死別が6.4%、未婚の母が7.4%となっている。また、父子世帯になった理由は、離婚が74.4%、死別が21.3%となっている。母子世帯は父子世帯に比べて離婚の割合が高く、死別の割合が低い。

(3) ひとり親になった当時の親の年齢



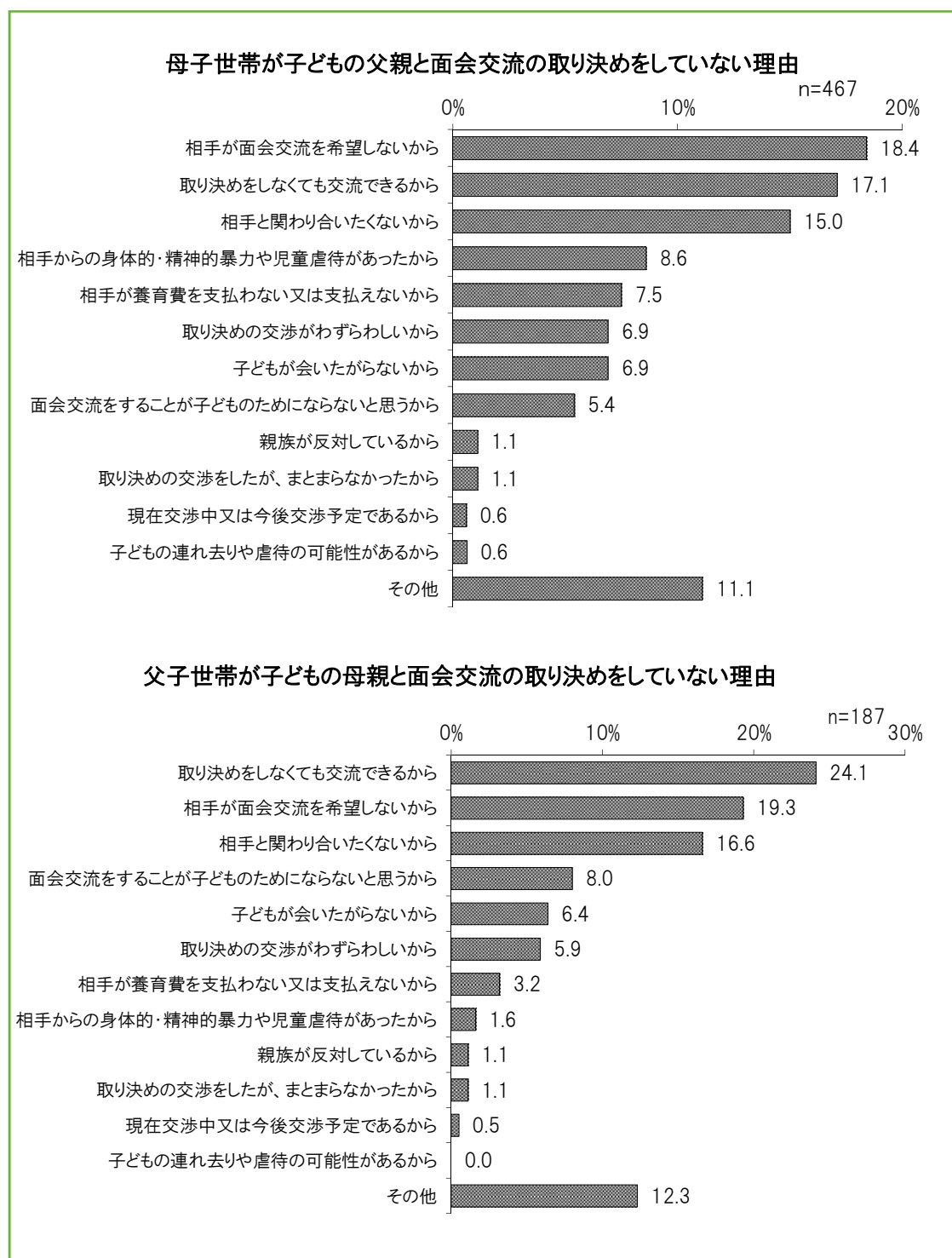
母子世帯の母親は30歳代で母子世帯となるケースが多く(48.9%)になっており、平均年齢は34.7歳となっている。また、父子世帯は、「35歳～39歳」(21.9%)、「40歳～44歳」(20.5%)で父子世帯となるケースが多くなっており、平均年齢は38.8歳となっている。

(4) ひとり親世帯の悩みや困っていることの内容



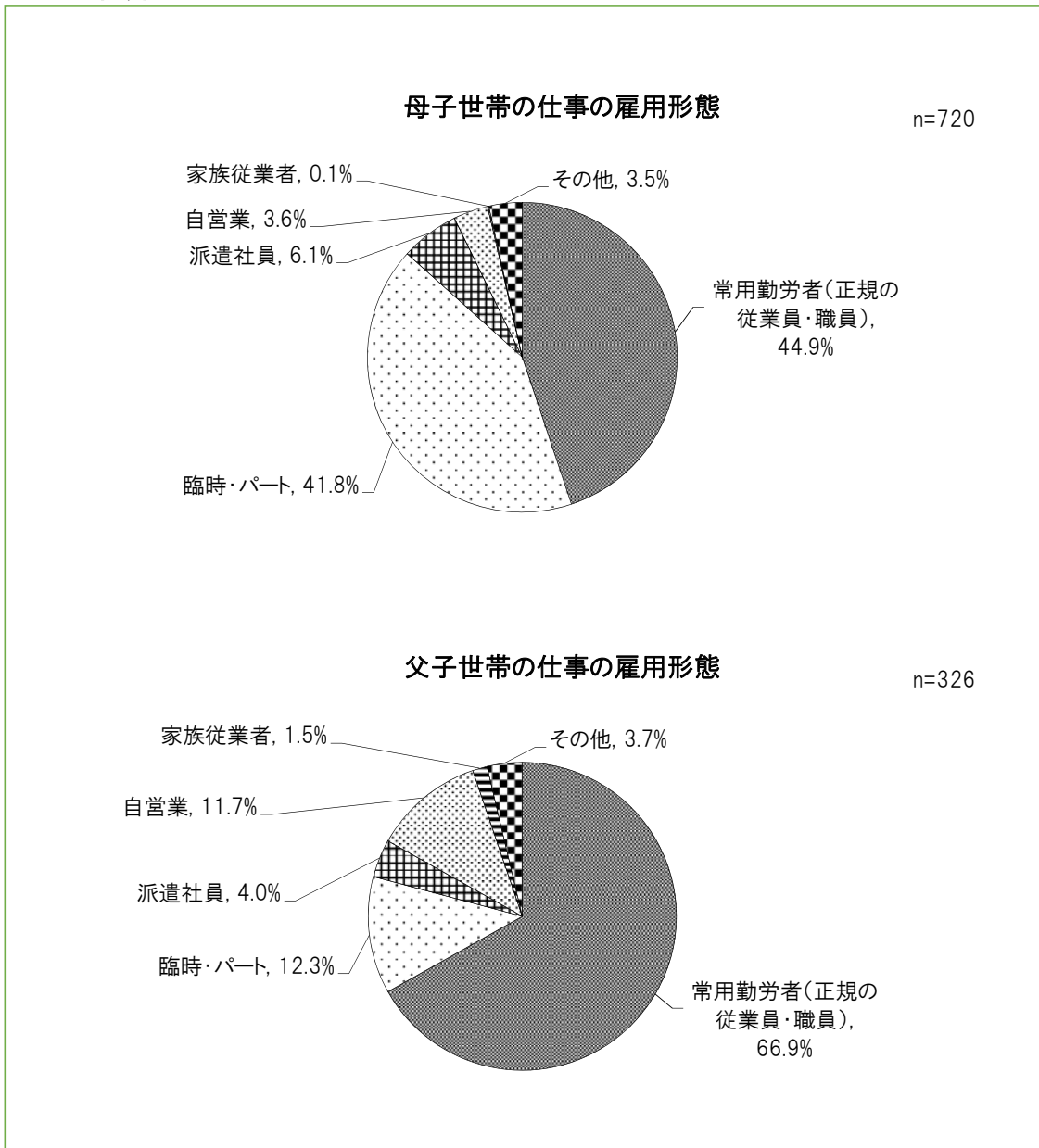
母子世帯の悩みや困っていることの内容をみると、「生活費のこと」が62.6%と最も高く、次いで「子どものこと」が47.7%、「仕事のこと」が43.7%、「老後のこと」が36.0%、「健康のこと」が23.8%の順となっている。一方、父子世帯では「子どものこと」が50.6%と最も高く、次いで「生活費のこと」が50.2%、「老後のこと」が34.7%、「仕事のこと」が32.8%、「健康のこと」が26.4%となっている。

(5) 面会交流の取り決めをしていない理由（新規）



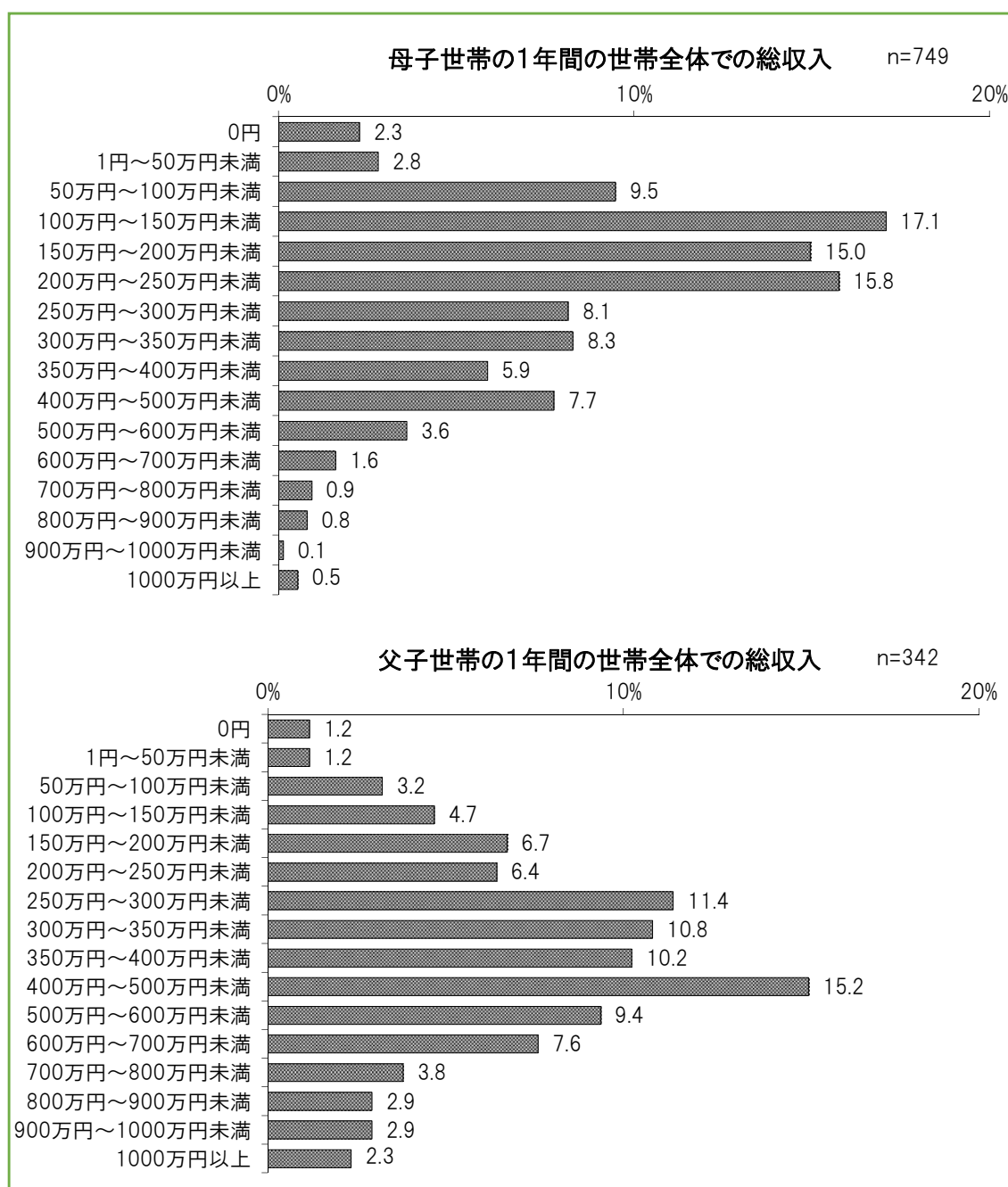
子どもの父親と面会交流の取り決めをしていない母子世帯は 66.1%あり、その理由は、「相手が面会交流を希望しないから」が 18.4%、「取り決めをしなくても交流できるから」が 17.1%となっている。一方、子どもの母親と面会交流の取り決めをしていない父子世帯は 72.2%あり、その理由は、「取り決めをしなくても交流できるから」が 24.1%、「相手が面会交流を希望しないから」が 19.3%となっている。

(6) 就労状況



母子世帯の母親の91.3%が仕事についており、そのうち臨時・パート、派遣社員が47.9%となっている。一方、父子世帯の父親は、91.7%が仕事についており、そのうち66.9%が常用勤労者となっている。

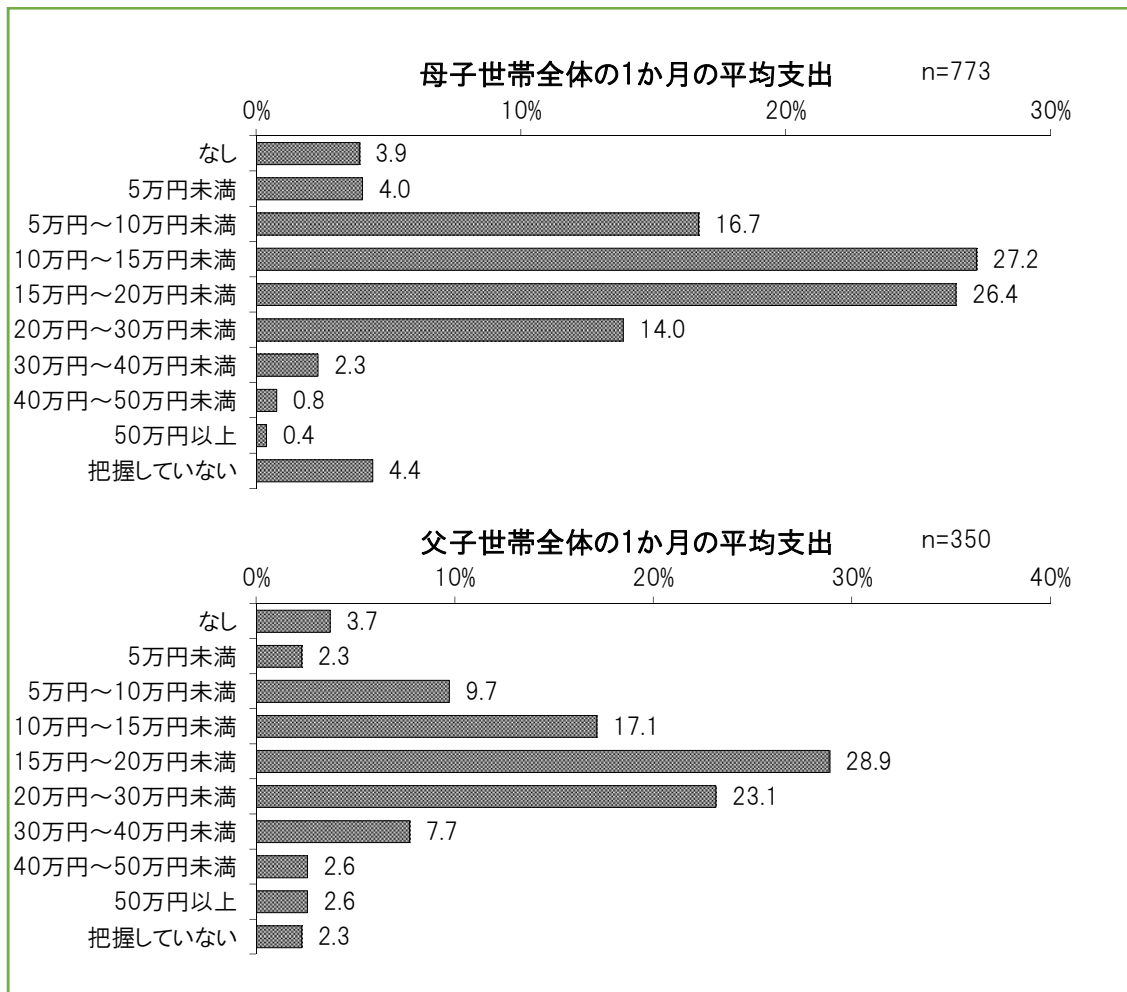
(7) 年収（世帯の総収入）



平成28年のボーナスを含む年間総収入は、母子世帯では「100万円～150万円未満」と回答した人の割合が17.1%と最も高く、次いで「200万円～250万円未満」が15.8%、「150万円～200万円未満」が15.0%の順となっている。一方、父子世帯では「400万円～500万円未満」と回答した人の割合が15.2%と最も高く、次いで「250万円～300万円未満」が11.4%、「300万円～350万円未満」が10.8%の順となっている。

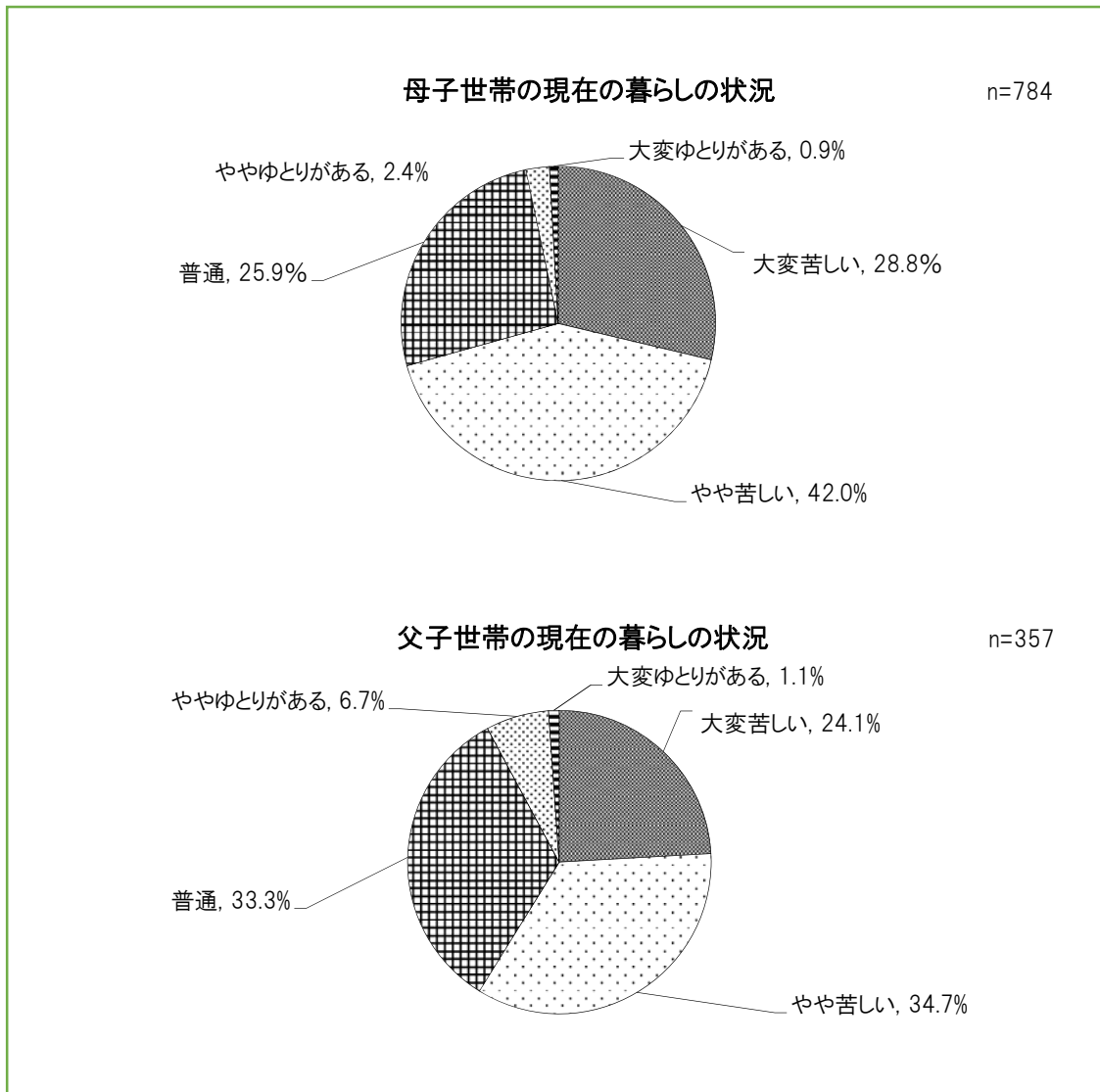
母子世帯の平均年収は、247.6万円となっており、父子世帯の平均年収は、413.5万円となっている。

(8) 家計の状況 (家計の1か月の平均支出) (新規)



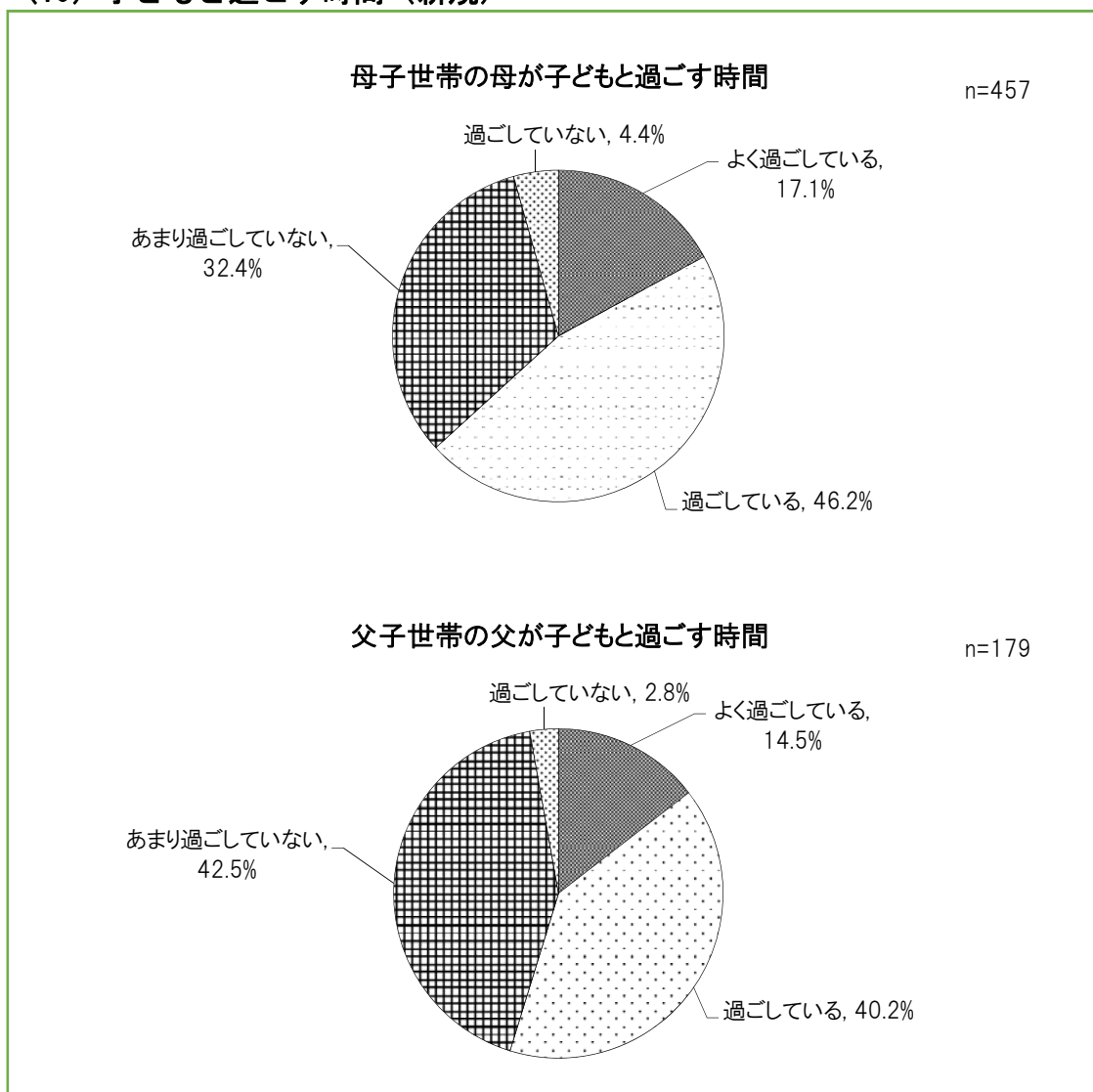
母子世帯の1か月の平均支出は、「10万円以上15万円未満」が27.2%と最も多く、次いで「15万円以上20万円未満」が26.4%となっており、父子世帯では、「15万円以上20万円未満」が28.9%と最も多く、次いで「20万円以上30万円未満」が23.1%となっている。

(9) 家庭の現在の暮らしの状況



家庭の現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせて母子世帯では70.8%、父子世帯では58.8%となっている。

(10) 子どもと過ごす時間（新規）



子どもと過ごす時間は、「よく過ごしている」、「過ごしている」を合わせて母子世帯では **63.3%**、父子世帯では **54.7%** となっており、「あまり過ごしていない」、「過ごしていない」を合わせて母子世帯では **36.8%**、父子世帯では **45.3%** となっている。